

---

# 広報 伊万里

活力あふれ ひとが輝く 安らぎのまち

---

平成30年度 予算特集号



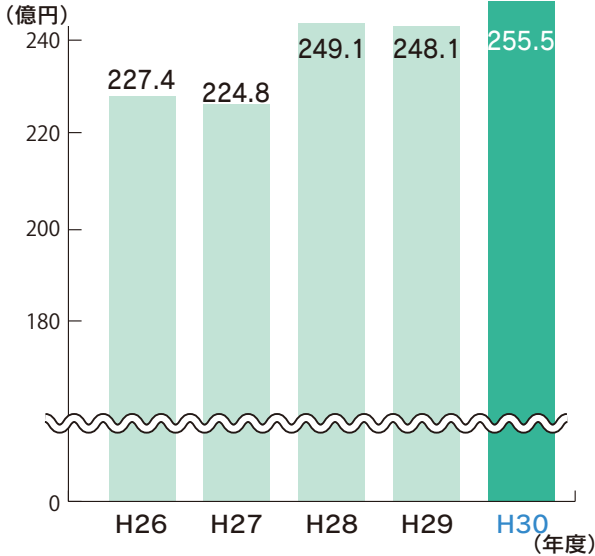
# 一般会計

平成30年度6月補正後予算総額

# 255億5,167万円

## 一般会計予算額の年度別推移

※平成26年度、平成30年度は6月補正後

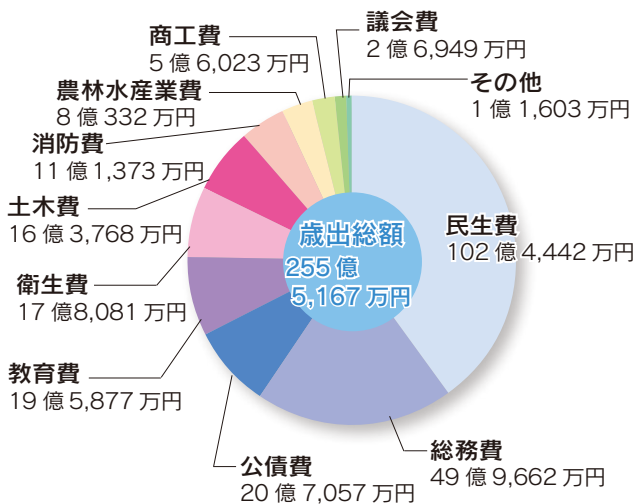


平成30年度は4年に1度の市長改選の年に当たり、当初予算は、義務的経費や経常的経費などを中心とした骨格予算でした。そのため、今回の補正予算では、堅実な行財政運営を基本としながら、『人づくり』に重点を置き、将来を見据えた取り組みを推進するための具体的な経費を追加し、予算の肉付けを行いました。

また、厳しい財政運営の中で、事業の重要性や緊急性を考慮し、優先順位を決めるとともに、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に努め、厳選した事業を中心とする予算編成を行いました。

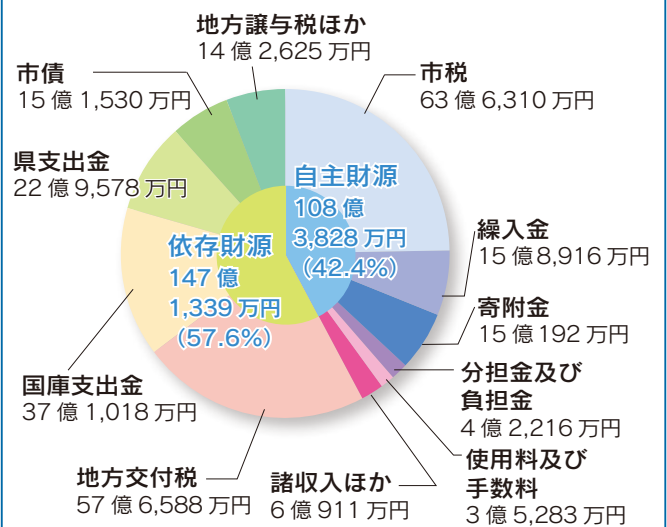
その結果、今年度の6月補正後の伊万里市一般会計予算は、総額で255億5,167万円となり、平成29年度の同期(6月補正後:255億2,222万円)と比較すると0.1%の増加となっています。

## 歳出



- **民生費**………社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です。
- **総務費**………企画や男女協働、国際交流など、主に総務部門に要する経費です。
- **公債費**………借入金の返済に要する経費です。
- **教育費**………小・中学校などの学校教育や社会教育、保健体育など教育全般の経費です。
- **衛生費**………保健衛生や、ごみの収集・処理などに要する経費です。
- **土木費**………道路や河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です。
- **消防費**………火災など災害に対応するための経費です。
- **農林水産業費**…農林水産業の振興に要する経費です。
- **商工費**………商工業や観光の振興に要する経費です。
- **議会費**………議会運営に要する経費です。
- **その他**………労働費や諸支出金、災害復旧費などです。

## 歳入



- **市税**………個人と法人の市民税や固定資産税、たばこ税などです。
- **繰入金**………基金や特別会計からの繰入金です。
- **寄附金**………ふるさと応援寄附金など、個人や法人などから受ける金銭寄附です。
- **分担金及び負担金**…災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです。
- **使用料及び手数料**…施設の使用料、戸籍や住民票の謄抄本の手数料などです。
- **諸収入ほか**………雑入などです。
- **地方交付税**………国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです。
- **国庫支出金**………国からの負担金や補助金です。
- **県支出金**………県からの負担金や補助金です。
- **市債**………市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です。
- **地方譲与税**………国税から譲与されるものです。



**表 1 特別会計予算額**

特別会計名	予算額
国民健康保険	63 億 7,603 万円
介護保険	61 億 1,187 万円
立花台地開発事業	1,386 万円
公共下水道事業	23 億 55 万円
農業集落排水事業	1 億 4,859 万円
市営駐車場	1,160 万円
後期高齢者医療	14 億 2,091 万円
計	163 億 8,341 万円

**表 2 企業会計予算額**

区分	水道事業	工業用水道事業
収益的収支	収入	15 億 2,698 万円
	支出	15 億 2,698 万円
資本的収支	収入	6 億 8,475 万円
	支出	14 億 1,034 万円

**表 3 市債現在高**

会計区分	現在高	
一般会計	218 億 4,955 万円	
特別会計	国民健康保険	2 億 5,000 万円
	公共下水道事業	101 億 1,306 万円
	農業集落排水事業	9 億 4,076 万円
計	331 億 5,337 万円	

会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	55 億 1,156 万円
	工業用水道事業	119 億 503 万円
計	174 億 1,659 万円	

※平成 30 年 5 月末の現在高です。

※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです。

## 特別会計

特定の事業を行う際、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるので、特別会計を設けています。

平成 30 年度は、表 1 のとおり 7 つの特別会計を設けており、その予算総額は、163 億 8341 万円となっています。

### ■国民健康保険特別会計

国民健康保険税や県支出金を主な財源として、医療給付などを行うための会計です。

### ■介護保険特別会計

介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスをを行うための会計です。



### ■立花台地開発事業特別会計

公共事業に伴う代替地供給を目的とした、宅地開発を行うための会計です。

### ■公共下水道事業特別会計

快適な生活環境の実現をめざし、下水道の整備や処理場の維持管理を行うための会計です。

### ■農業集落排水事業特別会計

農村地域の快適な生活環境の実現をめざし、排水事業を行うための会計です。

### ■市営駐車場特別会計

中心市街地や商店街などへの来訪者の利便を図る目的で設置している市営駐車場を管理・運営するための会計です。

## 企業会計

### ■後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度の適用を受ける 75 歳以上の高齢者と 65 歳以上で一定の障害がある人から徴収した保険料を、佐賀県後期高齢者医療広域連合に納付する会計です。

## 市債現在高

水道事業特別会計  
安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

工業用水道事業特別会計  
工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

地方公営企業法の適用を受け、特別会計の中でも経営成績を明確にする必要があるため、次の 2 つの企業会計を設けています。それぞれの会計ごとの予算額は、表 2 のとおりです。

建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県金融機関などから資金を借り入れています。市債の現在高は、表 3 のとおりです。

# 市政発展の基礎となる 人づくりに 重点的な投資を

今年度は、市長改選の年に当たり、当初予算は義務的、経常的経費などを中心とした言わば骨格予算でした。今回の補正予算で投資的経費や政策的経費などを追加し、予算の肉付けを行ったところです。

この議会では、補正予算などの審議に先立ち、4月27日に就任した深浦弘信市長が市政運営について所信表明を行いました。その一部を紹介します。

先の市長選挙において、市民の皆様  
の温かいご支持により、市政運営への  
負託をいただいたことは、この上ない  
光栄に存じます。

これまで経験したことのない人口減  
少社会を迎え、重要課題が山積してい  
る中、市長に就任しましたことに、そ  
の使命と責任の重さを再認識し、まさ  
に身の引き締まる思いであり、これま  
での行政経験で培った私の持てる力を  
十分に発揮し、自ら限界を設けること  
なく課題の解決に真摯に取り組み、責  
任をもってやり遂げる覚悟です。

私は、選挙活動を通して、地域の隅々  
まで足を運び実情に触れながら、地域  
の皆様とご意見を交わす中で、まさに  
『課題は現場にある』こと、まちづく  
りの課題はまちに身を置いてこそ発見  
できることを痛感しました。

このことから、私は職員とともに、  
あらゆる機会を捉えてまちに出て、ふ  
るさとへの熱き想いにあふれた市民の  
皆様との対話を深め、この伊万里が、  
本当に『住んでいてよかった』と実感  
できるまちになるよう、『仁政』の志を  
もって、市政運営に邁進する所存です。

さて、我が国の総人口は平成20年を  
ピークに減少局面に入っており、国を  
挙げての地方創生の取組が進められて  
いますが、人口減少に歯止めがかから  
ない状況に変化はありません。



伊万里市長 深 浦 弘 信  
Hironobu Hukaura

本市の人口動向についても同様であり、市民福祉のさらなる向上と地域の発展を図るためには、これまで以上に限られた資源を有効に活用し、市政運営の仕組みや考え方、予算の優先順位や使い方を常に検証し見直していくことが大切であると考えています。

もちろん、このような状況にあつても、将来を見据えた施策の展開は必要であり、特に市勢発展の基礎となる『人づくり』については、重点的な投資ができるよう、取組を再構築してまいります。

将来の発展のためには、子どもから高齢者、障害のある人などあらゆる市民の皆様が、生き生きと活躍できるステージをいかに用意できるか、また、担い手となる人材をいかに確保するかが鍵を握ります。

特に、子どもは未来を担う大切な宝であり貴重な人材です。その育成を図るため、学校現場との対話を深め、まずは老朽化が著しい学校施設の整備や維持補修を最優先で進めるなど、子どもの学習環境の整備に取り組みます。

また、将来に希望が持てる伊万里市を実現するため、交流人口の拡大や仕事づくりを力を入れ、地域のまちづくり活動を積極的に支援するなど、信念を持って多彩なまちづくりに取り組んでまいります。

※次ページからは、主要な施策の概要と予算などについて、総合計画の5つのまちづくりの目標に沿って説明します。



## 安心して健やかな暮らしづくり

### まちづくりの目標

すべての市民が生涯にわたり安心して生活できるよう、各ライフステージに応じた、きめこまやかな保健・医療サービスと福祉サービスの充実が求められています。

このため、疾病予防を重視した保健サービスを提供するとともに、救急医療をはじめとする地域医療の充実に努めるなど、市民の生涯を通じた健康づくりを推進します。

また、地域ぐるみでの高齢者や障害のある人などの支援体制の構築による福祉サービスの提供とともに、安心して子育てができる環境の整備を図り、市民一人一人が住み慣れた家庭や地域で支えあいながら、ともに暮らしていける地域福祉の充実に努めます。



市老人クラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会

#### ● 障害者生活支援センター管理運営事業

1565万円

障害者の自立や社会参加などを促進するため、必要な福祉サービスの利用の相談、援助などを行う障害者生活支援センターを運営します。

財源 国307万円 県154万円  
諸収入362万円 市742万円

▼福祉課

#### ● 身体障害者更生医療給付事業

9383万円

身体に障害がある人の障害部位の加療により、改善または機能維持を図るため、人工透析や心臓手術など、医療費を給付します。

財源 国4682万円 県2341万円  
市2360万円

▼福祉課

#### ● 障害者介護・訓練等給付事業

12億4648万円

障害者やその保護者が利用する障害福祉サービスの費用の一部を給付します。

財源 国6億2234万円 県3億1117万円  
市3億1297万円

▼福祉課

#### ● 障害児生活適応施設（ひまわり園）管理運営事業

2623万円

障害のある幼児とその保護者に、日常生活に対応する訓練や指導を行うため、こどもハートフルセンターひまわり園を運営します。

財源 諸収入2392万円 市231万円

▼福祉課

#### ● 重度障害者（児）医療給付事業

1億846万円

心身に重度の障害がある人の経済的負担を軽減するため、医療費の一部を給付します。

財源 県5423万円 市5423万円

▼福祉課

#### ● シルバー人材センター支援事業

955万円

高齢者の就業を促進するため、シルバー人材センターに対し支援を行います。

財源 財産収入22万円 市933万円

▼長寿社会課



ひまわり園

● 子育て支援センター管理運営事業

654万円

子育て相談業務や、多様化する保育需要に対応するため、一時預かり、休日保育などを行う子育て支援センターを運営します。

財源 使用料64万円 国219万円  
県219万円 市152万円

▼福祉課

● 子どもの医療費助成事業

1億6274万円

子育て世帯の負担を軽減するため、0歳から中学生までの子どもが通院・入院した際に必要な費用の一部を助成します。

財源 県4559万円 繰入金  
7140万円 諸収入13万円 市  
4562万円

▼福祉課

● 病後児保育事業

355万円

仕事と子育ての両立を支援するため、保護者が就労などにより病気の回復期にある子どもを自宅で保育できない場合に、子どもを一時的に預かります。

財源 使用料5万円 国81万円  
県81万円 市188万円

▼福祉課

● 子ども・子育て会議運営事業(子ども・子育て支援事業計画調査分析業務委託等【新】)

237万円

平成32年度から平成36年度までを計画期間とする『第2期子ども・子育て

支援事業計画』を策定するため、子育て支援に関する住民のニーズを把握するためのアンケート調査などを行います。

財源 市237万円

▼福祉課

● 留守家庭児童クラブ管理運営事業

1億2556万円

就労などにより、昼間保護者がいない家庭の小学校児童の健全な育成を図るため、安全な生活の場や遊びの場を提供する留守家庭児童クラブを運営します。これまで小学3年生までとしていた受入学年を、小学6年生まで拡大するとともに、運営全般を民間事業者に委託します。

財源 使用料3573万円 国  
2997万円 県2997万円 市  
2989万円

▼教育総務課

● 留守家庭児童クラブ専用施設整備事業(大坪第4児童クラブ専用施設実設計業務委託【新】)

209万円

留守家庭児童クラブの利用者の増加に対応し、専用の施設を整備するため、実設計を行います。

財源 繰入金200万円 市9万円

▼教育総務課

● 児童手当支給事業

10億3847万円

次世代を担う子ども一人一人の育ちを社会全体で応援するため、中学校修了までの児童を対象に児童手当を支給します。

財源 国7億2288万円 県1億5639万円 市1億5920万円

▼福祉課

● 生活困窮者自立支援事業

918万円

生活困窮者への包括的な相談支援を行い、必要な場合は住居確保給付金を支給します。

財源 国688万円 市230万円

▼福祉課

● 妊婦乳児健康診査事業

4908万円

乳児が心身ともに健やかに育つよう、また、妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図ることで安心して出産ができる体制を確保するため、乳児と妊婦の健康診査を実施します。

財源 市4908万円

▼健康づくり課

● 休日・夜間急患医療センター管理運営事業

1568万円

日曜日や祝日の休日診療や、平日の夜間における小児診療の初期救急医療体制を確保するため、休日・夜間急患医療センターを運営します。

財源 市1568万円

▼健康づくり課

● 伊万里・有田地区医療福祉組合運営負担金 2億2138万円

地域医療の確保を図るため、伊万里有田共立病院事業の運営に要する経費を負担します。

財源 市2億2138万円

▼健康づくり課

● 公立保育園運営交付金事業【新】

75万円

公立保育園において、園長の裁量で使途を決定できる経費を交付します。

財源 市75万円

▼福祉課

● 大坪保育園・公民館複合施設整備事業【新】

639万円

老朽化が著しい大坪保育園と大坪公民館を複合施設として整備するため、基本設計を行います。

財源 繰入金630万円 市9万円

▼福祉課・生涯学習課



休日・夜間急患医療センター



## 創造的で心豊かなひとづくり

市民一人一人が、生涯にわたり充実した人生を送るためには、学ぶことの楽しさを理解し、生涯を通じて自ら学んでいく意識の醸成とともに、多様な学習ニーズに対応する環境の整備が求められています。

このため、未来を担う子どもたちが、豊かな人間性と創造性を備えた人間として成長できるよう、幼児期から学齢期において教育における連続性を確保するなど、教育環境の整備を推進するとともに、地区公民館や図書館などの生涯学習の拠点を活用した学習機会の提供に努めます。

また、健やかな心身を養うため、スポーツに親しむ習慣や意欲の高揚を促進するとともに、青少年の健全な育成を図るなど、学校をはじめ家庭や地域が一体となった生涯学習環境の充実に努めます。

さらに、郷土の歴史や文化の保存と継承を図るとともに、異文化と触れ合うための交流を促進するなど、個性豊かな地域文化の振興に努めます。



全国から多くのランナーが参加した伊万里ハーフマラソン大会

## ●市民センター改修事業

5916万円

平成4年の施設建設から25年が経過し、設備に不具合が生じてきているため、市民センターふれあいプラザの空調設備を改修します。

財源 繰入金1480万円 市債4430万円 市6万円

## ▼市民センター

## ●大連市公務研修生受入事業

108万円

市の友好交流都市である中国大連市との交流を深めるため、公務研修生を受け入れます。

財源 市108万円 ▼国際戦略室

## ●英語指導力向上研究事業【新】

20万円

学校教員の英語指導力の向上を図るため、英語教育推進リーダー中央研修を受講した教員が、外部専門機関の助言を受けながら授業改善の手法を研究し、公開授業などを行うことで、成果の普及を図ります。

財源 県20万円 ▼学校教育課

## ●デジタル教科書導入研究事業【新】

25万円

学校において、学習効果の高い授業



デジタル教科書を使った授業の様子（三里小学校）

を行うため、デジタル教科書による効果的な授業方法の研究や、導入教科の選定を行います。

財源 市25万円 ▼学校教育課

## ●学校運営交付金事業【新】

330万円

子どもや地域の状況に応じた特色ある学校づくりを推進するとともに、学校現場で発生するさまざまな課題に対応するため、校長の裁量で使途を決定できる経費を交付します。

財源 市330万円 ▼学校教育課

## ●公立幼稚園運営交付金事業【新】

12万円

公立幼稚園において、園長の裁量で使途を決定できる経費を交付します。

財源 市12万円 ▼教育総務課



● **小・中学校管理事業**（大川小学校プール改修工事〔新〕、山代中学校プール機械室改修等設計業務委託〔新〕）  
852万円

小・中学校のプールで、擁壁の一部倒壊や外壁の亀裂などが生じたため、改修工事や改修に向けた実施設計を行います。

財源 市852万円 ▼教育総務課

● **小学校施設環境改善事業**（大川内小学校トイレ改修設計業務委託〔新〕）  
265万円

小学校施設の環境を改善するため、トイレ改修に向けた実施設計を行います。

財源 市265万円 ▼教育施設課

● **小・中学校施設環境改善事業**（小・中学校空調設備設計業務委託〔新〕）  
1237万円

小・中学校施設の環境を改善するため、普通教室などへの空調設備の設置に向けた実施設計を行います。

財源 市債670万円 市567万円 ▼教育施設課

● **小・中学校パソコン管理事業**（学校図書館電算化〔新〕）  
805万円

学校図書館などの図書検索機能の充実や貸出業務の迅速化・効率化を図るため、蔵書管理システムの導入やパソコンの更新などを行います。

財源 繰入金432万円 諸収入

373万円

▼学校教育課

● **中学校放課後等補充学習事業**  
118万円

学習内容の定着が十分でない生徒に對して、地域の人材を活用し、放課後や長期休業期間中に補充学習を実施します。

財源 県60万円 市58万円 ▼学校教育課

● **中学校建設事業**  
6516万円

平成29年度に完了した伊万里中学校改築基本設計に基づき、実施設計と地質調査を行います。

財源 市債4880万円 市1636万円 ▼教育施設課

● **伊万里未来プランナー養成事業**  
27万円

『ふるさと伊万里』の価値を再認識し、地域づくり活動に貢献する人材を育成するため、高校生を対象とした講座を開催します。

財源 繰入金20万円 市7万円 ▼生涯学習課

● **明治維新150年記念偉人顕彰事業**〔新〕  
350万円

県が開催する『肥前さが幕末維新博覧会』に連動し、幕末・明治期に活躍した本市出身の偉人とその偉業を顕彰するため、『幕末・明治維新と伊万里』展の開催や小・中学生向け

副読本の制作などを行います。

財源 県233万円 繰入金110万円 市7万円 ▼生涯学習課

● **家読推進事業**（『いまりっ子』育成支援事業〔新〕）  
51万円

図書館を使った『調べる学習』を推進するため、地域学習会を開催するほか、指導者育成研修会に司書を派遣します。

財源 繰入金4万円 諸収入47万円 ▼市民図書館

● **保健体育総務事業**（ボールゲームフェスタ運営業務委託〔新〕）  
15万円

子どもたちが複数の球技スポーツを体験し、体を動かす楽しさとボールゲームのすばらしさを体感できる機会を提供するため、日本トップリーグ連携機構と協力して、ボールゲームフェスタを開催します。

財源 市15万円 ▼体育保健課

● **ウォーキング大会開催事業**  
30万円

市民の健康づくりを推進するとともに、全国のウォーキング愛好者に伊万里をPRし、スポーツによる交流人口の増加を図るため、ウォーキング大会を開催します。

財源 繰入金30万円 ▼体育保健課

● **ハーフマラソン大会開催事業**  
200万円

競技力の向上と、全国からのラン

ナーの参加によるスポーツ交流人口の増加を図るため、ハーフマラソン大会を開催します。

財源 繰入金200万円 ▼体育保健課

● **スポーツ大会開催支援事業**〔新〕  
41万円

市民の『見るスポーツ』の場づくりと競技力の向上を図るため、市内で開催される全九州高等学校ホッケー競技大会の運営に要する費用の一部を補助します。

財源 市41万円 ▼体育保健課



伊万里ウォークで紅葉の大川内山を歩く参加者

# 活気あふれる産業づくり

生活の豊かさや都市の活力を高めていくためには、本市に集積する地域産業の一層の振興とともに、新たな産業の導入を推進するなど、産業の均衡ある発展が求められています。

このため、安全、安心な農産物の安定的な供給と収益性の確保に向けた農業生産基盤の強化に努めるとともに、技術の高度化や新分野進出への支援など地場産業の振興はもとより、雇用の増大や定住につながる企業誘致を積極的に展開します。

さらに、個性的で魅力ある商業空間の形成を促進するとともに、豊富な地域資源を生かした観光開発や、伊万里港においては東アジア地域に近接な地理的優位性を活用した国際物流拠点の形成を図るなど、力強い産業の育成に努めます。



市内にある水田の7月中旬の様子

## ●伊万里の“いい職”説明会開催事業

61万円

伊万里・有田地区の高校生や佐賀・長崎・福岡県の学生などを対象に、市内企業のPRや就職情報の提供などを行うため、企業説明会を開催します。

財源 繰入金60万円 市1万円

▼企業誘致・商工振興課

## ●ふるさと伊万里就業奨励事業【新】

100万円

若年層の市外からの転入を促進することで、市内企業などの人材確保を図るため、就業奨励金を交付します。

財源 市100万円

▼企業誘致・商工振興課

## ●園芸農業機械・施設等整備支援事業

5723万円

収益性の高い園芸農業の確立を図るため、収量・品質の向上や経営規模の拡大、経営コストの削減に向けた取り組みに必要な、機械・施設などの整備に要する費用の一部を補助します。

財源 県4706万円 繰入金1010万円 市7万円

▼農業振興課

## ●森林山村保全管理支援事業【新】

34万円

森林の有する多面的機能を発揮するため、地域住民などが行う森林の手入れなどの共同活動に要する費用の一部を補助します。

財源 県6万円 市28万円

▼農山漁村整備課

## ●新規就農者支援事業

2594万円

次世代を担う農業者の育成・確保を図るため、経営開始直後の新規就農者に対し資金を交付します。また、資金交付の対象とならない親元就農者に対し、就農給付金を交付します。

財源 県2112万円 市482万円

▼農業振興課



伊万里の“いい職”説明会



● 農業経営安定等支援事業

1022万円

経営所得安定対策の円滑な普及、推進を図るため、市農業再生協議会や市農協生産組合の活動に要する費用の一部を補助します。

財源 県861万円 市161万円

▼ 農業振興課

● 水田農業機械・施設等整備支援事業

718万円

水田農業の担い手の経営安定と競争力のある売れる米・麦・大豆づくりを推進するため、必要な機械・施設などの整備に要する費用の一部を補助します。

財源 県552万円 繰入金150万円 市16万円

▼ 農業振興課

● 有害鳥獣対策事業

1336万円

有害鳥獣による農作物被害を軽減し、農業経営の安定を図るため、駆除や被害防止対策に要する費用の一部を補助します。

財源 市1336万円

▼ 農業振興課

● 就農研修資金償還支援事業【新】

57万円

就農前の技術習得を促進し、優れた技術・経営能力を持った新規就農者を確保・育成するため、認定就農者が借りた就農研修資金の償還減免を行う公益社団法人佐賀県農業公社に

対し、減免に要する費用の一部を補助します。

財源 市57万円

▼ 農業振興課

● 繁殖雌牛導入対策事業

80万円

雌牛の能力向上と農家の規模拡大を図るため、優良な繁殖雌牛を導入し、増頭または改良を行う繁殖牛農家へ一定期間貸し付ける市農業協同組合に対し、事業に要する費用の一部を補助します。

財源 繰入金80万円

▼ 農業振興課

● 中山間地域農業基盤・環境整備促進事業

2040万円

中山間地域における農業基盤などの総合整備を行います。

財源 分担金460万円 市債820万円 市760万円

▼ 農山漁村整備課

● 経営体育成基盤整備事業【新】

660万円

整備後50年以上が経過した東山代干拓地の集積化・効率化を図るための再整備（水利施設や農道など）を行うため、県営事業採択に向けた事業計画書を作成します。

財源 市660万円

▼ 農山漁村整備課

● ビジネス支援サービス業等立地促進事業

2334万円

事務系企業の誘致促進を図り、新たな雇用を創出するため、民間物件オフィスを借り上げ、誘致企業専用オフィスとして運用します。

財源 使用料2334万円

▼ 企業誘致・商工振興課

● 企業立地勧奨事業

415万円

企業の新規立地を促進し、新たな雇用を創出するため、企業誘致の営業活動を行うとともに、企業の立地動向に関する情報の提供者に対し、誘致結果などに応じて報奨金を支払います。

財源 市415万円

▼ 企業誘致・商工振興課

● 工業団地整備事業

4047万円

企業の新規立地を促進し、新たな雇用を創出するため、内陸型の工業団地を整備します。今年度は、整備予定地内に存在が確認された埋蔵文化財の発掘調査を行うとともに、上水道の整備を行います。

財源 県1490万円 繰入金2550万円 市7万円

▼ 企業誘致・商工振興課

● 伊万里ブランド販売促進事業

511万円

伊万里ブランドの販売促進と市への誘客促進を図るため、福岡都市圏や首都圏のホテルで、伊万里産の食材を使った限定メニューを伊万里焼の

器で提供する『伊万里フェア』を開催します。また、市特産品の販路開拓を図るため、総務省が構築する『マインナンバーカード』を活用した地域経済好循環システムの実証事業の一つとして開設された、通販サイト『めいぶつチョイス』を利用します。

財源 繰入金300万円 諸収入200万円 市11万円

▼ 観光課

● 観光振興団体支援事業（観光振興強化事業費補助金）

1300万円

市の観光情報の発信や各種観光事業を行う市観光協会に対し、さらなる観光客の増大を図るための、旅行代理店を対象にした『募集型・受注型企画旅行事業』にかかる経費を補助します。また、大企業の社員がその知見などを生かし、地域の魅力向上などにつながる業務に従事する『地域おこし企業人交流プログラム』（2名受入）に関する経費を補助します。

財源 市1300万円

▼ 観光課

● 市内周遊観光券発行支援事業【新】

300万円

西九州自動車道の延伸に伴い、福岡都市圏からの誘客の拡大と周遊促進、市内での観光消費額の増加を図るため、食事や土産、体験に係る費用を助成する周遊観光券の発行に要する費用の一部を補助します。

財源 繰入金300万円

▼ 観光課

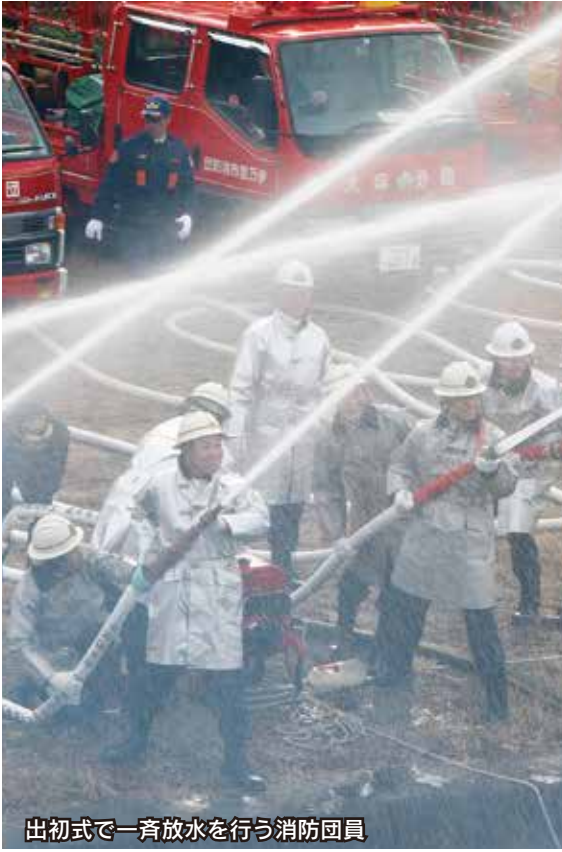
## 安全で快適な地域づくり

本市がもつ豊かな自然をはじめ、地域の歴史や特色ある景観の保全など、潤いと安らぎを感じることができ、快適な環境の確保が求められます。

このため、自然環境に配慮した公園や緑地をはじめ、下水道などの整備を進めるとともに、廃棄物の減量化や適正な処理に取り組むなど、快適な生活空間の形成を図ります。

また、市民の移動や交流を支える道路や公共交通体系の整備をはじめ、東アジアへのゲートウェイとしての港湾の整備を促進するほか、安全な生活用水の確保とともに、本市固有の歴史や自然と調和した都市景観の形成など都市基盤の充実に努めます。

さらに、市民が安心して安全に暮らすことができるよう、災害などに関する市民の危機管理意識の醸成を図るとともに、市民との協働による防災体制の強化や減災対策に取り組むほか、交通安全の確保や防犯活動の充実に努めます。



出初式で一斉放水を行う消防団員

## ●コミュニティバス等運行事業

1905万円

高齢者をはじめとした交通弱者の移動手段を確保するため、市独自の地域密着型バスを運行します。また、民間バス会社の武雄線の廃止に伴う代替策として、新たにデマンドタクシーの運行をタクシー会社に委託するとともに、武雄・桃川間のコミュニティバスを武雄市と共同で運行します。

財源 繰入金1900万円 市5万円

▼まちづくり課

## ●バス交通支援事業

7501万円

地域でのバスの運行を確保するため、不採算バス路線の維持や地域が行うバスの運行に要する費用の一部を補助します。

財源 県262万円 繰入金7230万円 市9万円

▼まちづくり課

## ●鉄道交通支援事業（松浦鉄道施設整備事業費補助金）

1161万円

第3セクターである松浦鉄道株式会社との円滑な事業運営のため、松浦鉄道沿線の2県4市2町で組織する松浦鉄道自治体連絡協議会において決定した施設整備事業計画に基づき、施設の整備や更新に



黒川町内を巡回するコミュニティバス『くるがわ号』

要する費用の一部を補助します。  
財源 市1161万円

▼まちづくり課

## ●伊万里有田地区衛生組合運営負担金

2億7078万円

伊万里・有田地区衛生組合が行う尿などの処理や火葬場事業に要する経費を負担します。

財源 市2億7078万円 ▼環境課



● **浄化槽設置促進事業（浄化槽設置整備事業補助金）** 2317万円

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、浄化槽を設置する世帯に対し、設置に要する費用の一部を補助します。

財源 国421万円 県772万円 市1124万円 ▼下水道課

● **一般廃棄物収集運搬事業**

1億7288万円

ごみ（一般廃棄物）を適正に処理するため、指定ごみ袋などを作製するとともに、ごみを収集運搬します。

財源 手数料9059万円 諸収入30万円 市8199万円 ▼環境課

● **環境センター管理運営事業**

4783万円

市内から排出されたビン類やペットボトル、発泡スチロール製トレイのリサイクル処理を行うため、環境センターを運営します。また、平成27年度をもって閉鎖した焼却炉と最終処分場を適切に管理します。

財源 諸収入342万円 市4441万円 ▼環境課

● **佐賀県西部広域環境組合運営負担金**

4億9100万円

市内から排出されたごみ（一般廃棄物）を衛生的に処理するため、さが西部クリーンセンターを運営する

佐賀県西部広域環境組合の経費を負担します。

財源 市4億9100万円 ▼環境課

● **資源ごみ回収促進事業** 234万円

資源ごみの回収活動を実施する行政区や市民団体に対し、回収実績に応じて補助金を交付します。

財源 繰入金230万円 市4万円 ▼環境課

● **道路管理事業（単独）**

1億154万円

市内全域の市道を維持するため、補修工事などを行います。

財源 県7160万円 市債1000万円 市1994万円 ▼道路河川課



さが西部クリーンセンター

● **道路管理事業（社会資本整備総合交付金）** 5678万円

平成25年度に実施した道路防災・付属物点検業務委託の結果に基づき、老朽化している道路法面を補修します。

財源 国2800万円 市債2770万円 市108万円 ▼道路河川課

● **市道改良事業（道整備交付金）** 4928万円

市道2路線を改良するため、道整備交付金を活用して、整備工事を行います。

財源 国2430万円 市債2390万円 市108万円 ▼道路河川課

● **市道改良事業（単独）** 1400万円

道路が狭いことなどで、交通に支障を来している市道2路線の改良を行います。

財源 県1400万円 ▼道路河川課

● **交通安全施設整備事業（社会資本整備総合交付金）** 4360万円

歩行者の安全確保のため、社会資本整備総合交付金を活用して、歩道の新設や段差解消、拡幅などを行います。

財源 国2365万円 市債1930万円 市65万円 ▼道路河川課

● **橋りょう管理事業（社会資本整備総合交付金）** 6885万円

平成25年度に策定した市橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用して、老朽化した橋りょうを点検・補修します。

財源 国3740万円 市債2700万円 市445万円 ▼道路河川課

● **排水機場保全対策事業**

1841万円

長浜六本松および木須新田排水機場の老朽化、機能低下に対し、平成27年度に策定した機能保全計画に基づき、5か年計画で施設の保全対策を行います。

財源 県1257万円 市584万円 ▼土木管理課



木須新田排水機場

● 浸水対策事業 5091万円

伊万里湾の干満の影響を受け、満潮と豪雨が重なる際に道路などが冠水する松島搦地区に、雨水渠や排水機場などを整備します。

財源 国2500万円 市債2540万円 市51万円 ▼下水道課

● 都市計画道路整備事業（大坪小学校線） 7552万円

市街地の円滑な交通を確保するため、社会資本整備総合交付金を活用して、都市計画道路大坪小学校線を整備します。

財源 国4024万円 市債3290万円 市238万円 ▼道路河川課

● 都市公園管理事業 3883万円

都市公園37施設の清掃、樹木の剪定・防除、遊具の点検などの維持管理を行います。

財源 使用料11万円 諸収入7万円 市3865万円 ▼土木管理課

● 市営住宅管理事業 2470万円

市営住宅9団地713戸の管理運営を行います。

財源 使用料1911万円 市559万円 ▼都市政策課

● 空家等管理促進事業（社会資本整備総合交付金） 239万円

特定空家の倒壊や火災の未然防止、生活環境の保全を図るため、社会資

本整備総合交付金を活用して解体除却工事などを行うほか、特定空家の除却に要する費用の一部を補助します。

財源 国90万円 市149万円 ▼土木管理課

● 市営住宅改修事業（社会資本整備総合交付金） 2474万円

市営住宅の住環境を改善するため、社会資本整備総合交付金を活用して市営住宅の改修を行います。

財源 国1230万円 諸収入4万円 市債1230万円 市10万円 ▼都市政策課



伊万里ファミリーパーク（いまり夢みさき公園）

● 伊万里・有田消防組合運営負担金 8億7063万円

消防事業を行う伊万里・有田消防組合の運営に要する経費を負担します。

財源 市8億7063万円 ▼消防調整課

● 消防団運営事業（防火衣更新等） 607万円

消防団活動の充実・強化を図るため、各地区消防団に配備する防火衣などの安全装備品を更新するとともに、トランシーバーなどの情報伝達機器を整備します。

財源 県340万円 市267万円 ▼消防調整課

● 消防団車両管理事業 918万円

各地区消防団に配備されている小型動力ポンプ付積載車の老朽化に対応するため、順次更新を行います。

財源 市債880万円 市38万円 ▼消防調整課

● 防災活動事業（地域防災力向上事業、防災教育推進事業） 77万円

地区防災会活動の活性化と住民の防災意識の向上を図るため、地区防災委員を対象とした研修会を開催するとともに、『わがまち・わが家の防災マップ』を活用した地区ごとの防災訓練を実施します。また、中学生を対象として、災害時に主体的に行動

● 防災行政無線施設整備事業 1億1046万円

市民の生命、財産を災害から守るため、市民に対して一斉に災害情報を伝達することができる防災行政無線を整備します。

財源 市債1億1260万円 市△214万円 ▼防災危機管理課



7月5日～8日に発生した豪雨への対応の様子（市防災センター）

する力を育成するため、防災講座を開催します。

財源 市77万円 ▼防災危機管理課

市民の生命、財産を災害から守るため、市民に対して一斉に災害情報を伝達することができる防災行政無線を整備します。

財源 市債1億1260万円 市△214万円 ▼防災危機管理課



まちづくりの目標

自立と協働のまちづくり

市民の価値観の変化などに伴い、複雑、多様化する行政ニーズに柔軟に対応するとともに、限られた経営資源の中において、質の高い行政サービスを維持するためには、効率的で自立した自治体経営の確立はもとより、市民の自主的で主体的なまちづくりへの参画と市民との協働による行政運営が求められています。

このため、市民と行政が互いに情報の発信、収集を行うための機会の拡充を図り、市政に関する情報の提供や市民の声の市政への反映に努めるとともに、NPO法人やボランティア、まちづくり団体などのさまざまな主体が取り組む活動を促進するなど、市民が主役のまちづくりを進めます。

また、自主財源の確保はもとより、民間活力の導入、行政評価などを通じて、行財政改革を推進するとともに、地域の個性や主体性の発揮が求められる地方分権に的確に対応するため、効率的な行政運営体制の確立と組織を支える人材の育成に努めます。



旧佐賀銀行楠久出張所をリニューアルした楠久・津歴史ふれあい館

●債権管理強化事業【新】 90万円

市債権の強制徴収などの取り組みを強化し、収納率の向上を図るため、弁護士による技術的な助言を受けるとともに職員研修会を実施します。

財源 市90万円 ▼企画政策課

●明治維新150年記念地域活動支援事業【新】 228万円

明治維新150年記念さが維新交付金を活用し、楠久・津まちづくり実行委員会が実施する『幕末維新期の楠久津を再現する映像の制作』などの事業に要する費用の一部を補助します。

財源 県152万円 繰入金70万円 市6万円 ▼まちづくり課

●地域の元気推進事業 450万円

地域の課題に対応した住民自らの手によるまちづくり活動を支援するため、市内全13町（地区）の公民館を拠点に組織された『まちづくり運営協議会』の活動に要する費用の一部を補助します。

財源 繰入金450万円 ▼まちづくり課

●【新】リノベーションまちづくり推進事業 78万円

遊休化した不動産を活用したリノベーションによるまちづくり活動を支援するため、平成29年7月に開催された『リノベーションスクール@伊万里』での提案のフォローアップや、『伊万里市まちづくり座談会』の開催などの事業を実施します。

財源 繰入金70万円 市8万円 ▼まちづくり課

●移住・定住促進事業 1995万円

本市への移住・定住を促進するため、奨励金の交付や情報発信などを行います。また、空き家情報バンクへの登録を促進するため、新たに『空き家情報バンク登録促進奨励金』を交付します。

財源 繰入金1990万円 市5万円 ▼伊万里暮らし応援課

●再生可能エネルギー推進事業 2159万円

エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金を活用し、平成29年度に策定した再生可能エネルギービジョンに掲げる重点プロジェクトの実現可能性を調査するとともに、有識者などで組織する推進会議を開催します。

財源 国2159万円 ▼企画政策課



広報 **伊万里**

## 平成 30 年度 予算特集号

- 発行日／平成 30 年 8 月 1 日
- 発行編集／伊万里市情報広報課広報係  
(0955)23-4313 (直通)
- 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355 番地1
- 伊万里市のホームページ  
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷／株式会社三光